

HS Prime qPCR Premix (2X, Real time PCR for TaqMan Probe)

パフォーマンスデータ

1) 試験物質

HS Prime qPCR Premix (2X, Real-time PCR for TaqMan Probe)の性能評価のために、DNA を鋳型として使用された。

2) 試験方法

・試料及び適用濃度

4種類のDNA試料を 1.0×10^6 copies/ μ lに作製し、混合して使用した。(希釈液はDEPC D.Wを使用した)。

測定範囲のための適用濃度は 1×10^5 、 1×10^4 、 1×10^3 、 1×10^2 、 1×10^1 copies/ μ l で100%検出される5つの濃度を用意して使用した。

・反復数

各濃度毎に2反復試験を行った。

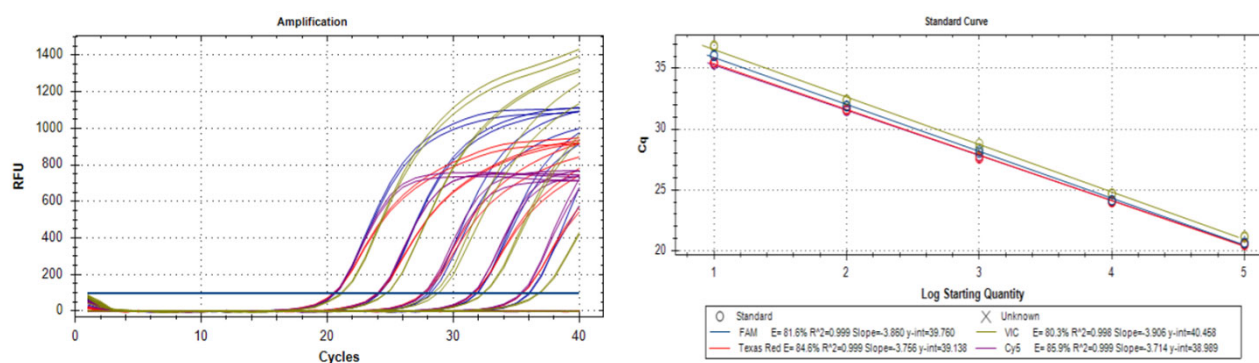
・PCR試験方法

下表のPCR反応条件に従って進行し、CFX96™Real-time PCR detection system(Bio-Rad)装備を使用した。

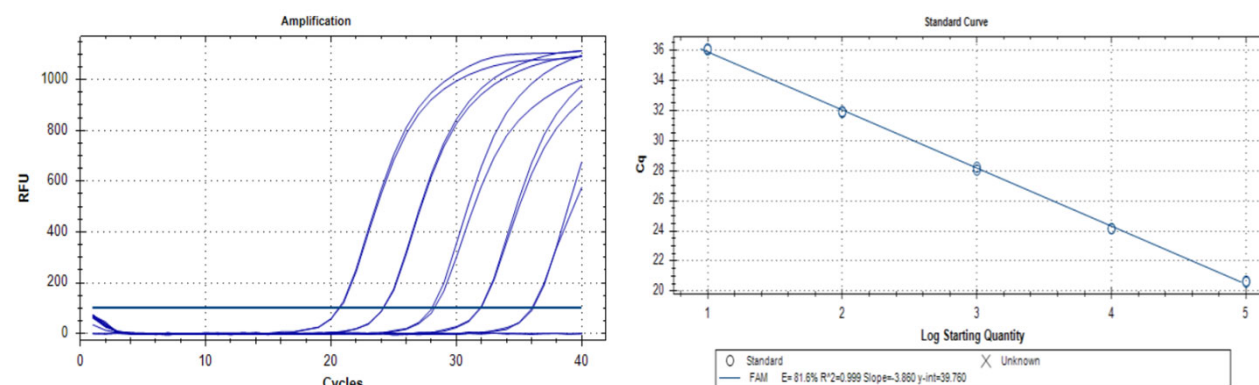
Step	Temperature	Time	Cycle
Pre denaturation	95 °C	10 min	1
Denaturation	95 °C	10 sec	40
Annealing/Extension	60 °C	30 sec	40

3) 試験結果

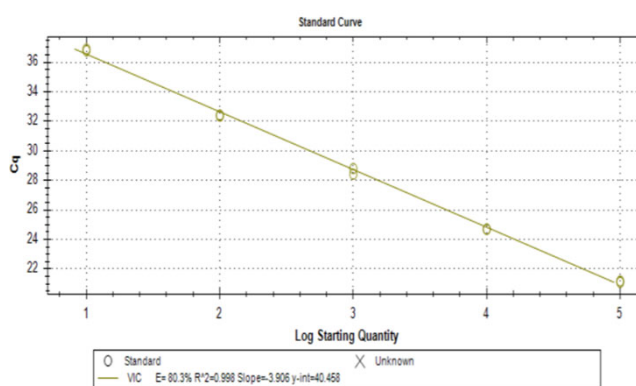
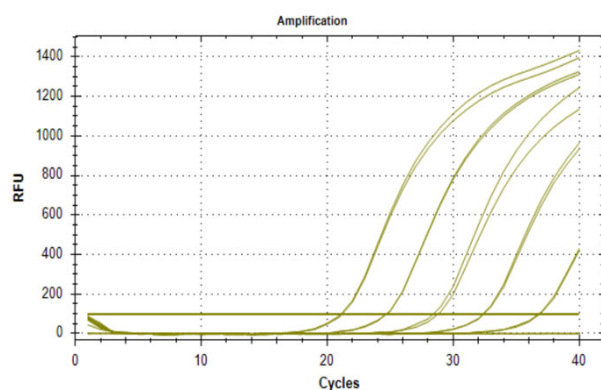
・Raw data



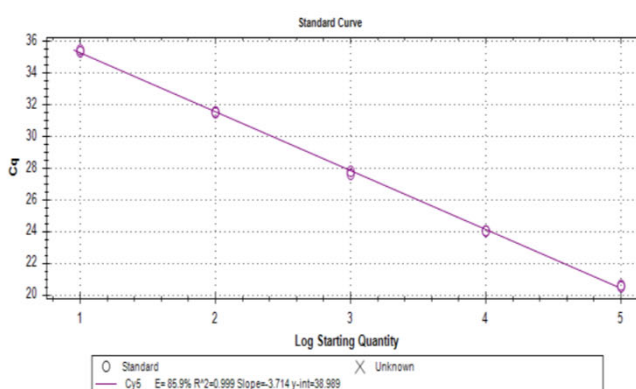
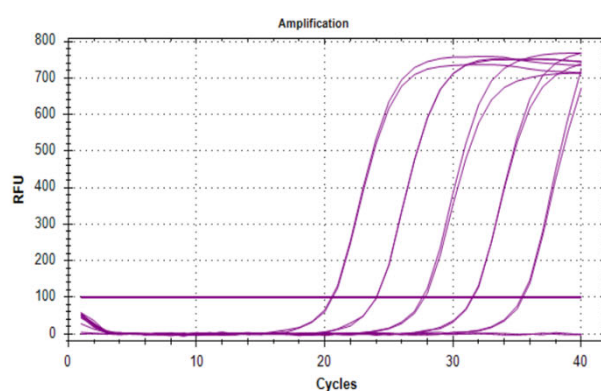
① Target A (FAM)



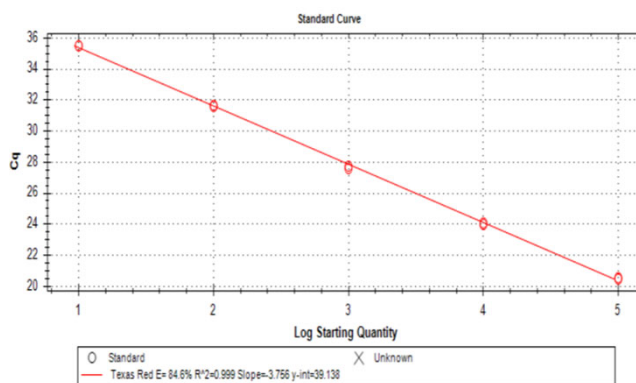
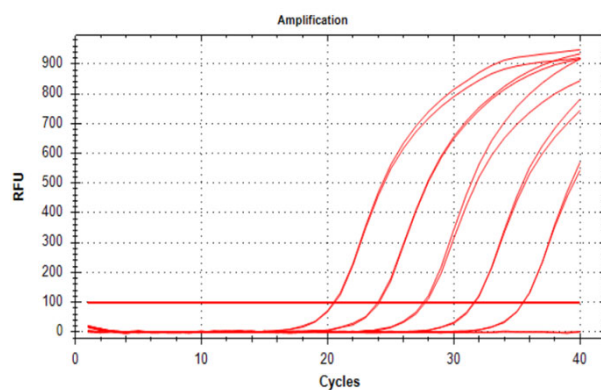
② Target B (VIC)



③ Target C (Cy5)



④ Target D (TexasRed)



4) 結果分析

試験物質が100%検出される区間を測定範囲(measuring range)で選定し、直線性(linearity)の R^2 が0.990以上の場合、直線性があると設定した。導出された結果を基にHS Prime qPCR Premix(2X)の測定範囲(measuring range)及び直線性(linearity)維持区間である $1 \times 10^5 \sim 1 \times 10^1$ copies/ μ lを確認した。